

「第 62 回 全国建設業労働災害防止大会 in 兵庫」

大会スローガン

**その行動は大丈夫 一度止まって再確認
仲間意識で声掛け励行**



2025 年度 大日本土木(株)・大日本土木安全協力会 合同安全祈願
静岡浅間神社

ANZEN

ANZEN NO.144 AUTUMN

CONTENTS

◇第 50 回定時総会報告 1

◇支部総会報告

・祝辞 大日本土木安全協力会 名誉会長 竹 田 勝 一 11
(大日本土木(株) 代表取締役 常務執行役員)

・祝辞 大日本土木安全協力会 会 長 森 屋 泰 則 12
(株)森屋製作所 代表取締役会長)

・挨拶 東 京支部総会 東 京支部長 藤 澤 徹 14
(株)森田組 代表取締役)

・挨拶 名古屋支部総会 名古屋支部長 酒井田 雅 一 16
(株)酒井田工務店 代表取締役)

・挨拶 大 阪支部総会 大 阪支部長 山 川 数 也 18
(株)山川 代表取締役社長)

・2025 年度 支部総会並びに安全衛生大会 結果報告 20

・第 62 回「全国建設業労働災害防止大会 in 兵庫」参加報告 ... 20

◇ 2025 年度 大日本土木安全協力会本部支部役員名簿 ... 21

◇本部だより 23

◇支部だより

・東 京支部 24

・名古屋支部 26

・大 阪支部 28

◇「ANZEN」編集部より「鵜飼の世界に息づく価値の逆転」 ... 13

発行元：大日本土木安全協力会

東京都新宿区西新宿 6-16-6 TEL03-5326-3772

  SAFETY COOPERATION GROUP

第 50 回 定時総会報告



本部役員・支部理事代表

1. 第 50 回 定時総会開催

日時：2025 年 7 月 4 日（金）13：00 ～ 14：00

会場：ホテルグランヒルズ静岡 < センチュリールーム >

2. 開会の辞

深津副会長（東京支部長）の開会の言葉

3. 安全協力会会長 挨拶

“ご安全に”

大日本土木安全協力会、本部会長を務めます森屋でございます。定時総会に際しまして、ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、竹田名誉会長をはじめ、本部役員・各支部の代表理事の方々に静岡まで足を運び頂き感謝申し上げます。本総会は例年、7月の安全週間に開催されるのが慣例となっております。通例ですと東京の都ホテルでの開催ですが、利便性と予算的な事を考慮し、本日は静岡での開催となりました。この後の安全祈願・直会・親睦会においても、若干不慣れな点もあるかと思いますがその点はご了承のほどお願いいたします。

先月は各支部にて支部総会が開催されました。支部の皆様・事務局の方々に於いては、準備・設営をして頂き感謝申し上げます。私も参加させていただきましたが、各支部とも安全に対する真摯な姿が拝見され、本部としては大変誇らしく思っております。また、役員改選に伴いまして本日より本部



大日本土木安全協力会 会長

株式会社森屋製作所

代表取締役会長 森屋 泰則

理事になられた方においては今後も本部活動へのご参加・ご協力をお願い申し上げます。
各支店の安全大会にも参加させて頂きましたが、こちらも竹田常務を先頭に安全への決意を聞くことが出来ました。改めて、私たち協力会は大日本土木様と同調していくことが必要だと再認識するとともに、具体的な計画を必ず達成する決意をここで表明させていただきます。

さらに、支部活動の後方支援を積極的行う必要があると感じられましたので、具体的なご意見が有れば是非お聞かせください。

会長職に就任して2年が過ぎました。今までの会長職務を世襲しつつ、私のテーマであります「コミュニケーションとおもてなし」をどのように感じてもらうかを試行錯誤した2年でした。皆様にはまだまだ感じてもらえない部分も大いにあったかと思いますが、2年前よりは進歩したのではないかと自負しております。そして今後も「コミュニケーションとおもてなし」が本部活動の一環になっていければと考えております。

この後議案がいくつかありますが皆様の慎重審議と活発な意見交換をお願いして、開会のあいさつとさせていただきます。

“ご安全に”

4. 安全協力会名誉会長 挨拶

“ご安全に”

本日はお忙しい中、暑い中お集まり戴き、大日本土木安全協力会の本部総会が開催されますこと、厚く御礼申し上げます。また、平素より当社の安全衛生管理活動、また、安全協力会の活動に大変ご尽力いただいていることに、重ねて御礼申し上げます。

お陰様で、昨年度の弊社の安全成績は災害数21件と昨年度23件から2件減少し、一昨年度33件から3年連続して減少傾向であり、何より重大災害が発生しなかったこと、これは安全協力会の店社の皆様と現場で働いていただいている職長さんを始め、作業員さんの常日頃からのご尽力のお陰であると改めて感謝申し上げます。今年度、この減少傾向を逆戻りさせない、重大災害も絶対に発生させない、更に、昨年度達成できなかった各支店5件以内の災害発生に抑えたいと思っております。

今年度は梅雨らしい天気も少なく、いきなり35℃以上の気温が続いています。

現場の皆さんは大変な環境で作業されていると思います。熱中症については、現在5件発生しています。昨年度は同時期1件、最終9件でしたので今年度は熱中症も要注意です。

災害においても7月から9月までの3か月を集計すると一昨年度は13件、昨年度は9件、それぞれ56%、46%と暑い季節に災害全体の半数が発生しています。公衆災害も一昨年度は50%、昨年度が42%と同じような結果に驚いています。この3か月間で公衆災害の約半数が発生しています。今まで以上に暑い今年は、災害が更に増加しないか非常に心配しています。

作業所の環境は様々ですので、各作業所で様々な工夫を行ってもらっています。少しでも暑さを和らげる環境作りであるとか、休憩・トイレの環境改善、或いはオリンピックと同様に作業時間を早朝から早上がりにするとか、協力会社さんと作業所との創意工夫を積極的に行いたいと思います。

数年前大型台風が大阪に上陸し、タンカーが流され、関西空港に衝突する災害が発生しています。当社では、その台風で現場のユニットハウスが数回転した災害が発生しました。幸いにも中に居た2人の職員は奇跡的に無傷であり、安堵したことがありました。今年は似たような超大型台風がどこかに上陸するのではないかと心配しています。異



大日本土木安全協力会 名誉会長

大日本土木株式会社
代表取締役 常務執行役員 竹田 勝一

常気象への対応もしっかりと備えたいと思います。

昨年度前半、架空線の接触、埋設管の破損トラブルが12件発生しました、手を擦傷する災害も多かった、また、外国人の方の事故が多いという特徴がありました。災害は“もぐらたたき”と同様で、対策を講じれば一旦は、収まりますが別の災害が発生し、対策を打つと収まる、ところが、忘れたところにまた類似の災害が発生する、この繰り返しです。生身の人間ですので、忘れた頃に油断やマンネリが出るのは当然ですし、痛い目を見た会社や社員、作業員さんも代替わりするので、同じような災害が繰り返し発生します。ただ、この繰り返しを防ぐ努力の積み重ねが、会社としての知恵の伝承であり、組織力であり、強いては社風に繋がると考えています。

大日本土木とその安全協力会は、安全に厳しい社風があり、未然に防ぐ組織力もあり、当社と皆さんとの結束力もある。これからもそのようにあり続ける活動を皆様と共に継続したいと思います。働いている人々を守るため、そして、その御家族の方々のためにも、皆様と共にゼロ災を目指します。

最後になりますが、本日ご参集の皆様の益々のご繁栄とご活躍を祈念申し上げ、御礼の挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”

5. 議長選出

事務局より本総会は総数30名のうち出席者30名と報告され、総会の成立宣言がされた。続いて森屋会長に議長を務めていただくことが満場一致で承認され、議案の審議に入った。

6. 議案の承認

- (1) 第1号議案「2024年度本部事業報告並びに収支決算承認の件」「監査報告」を一括上程し、事務局報告の後、金神監事より監査報告がなされ、満場一致で可決承認された。
- (2) 第2号議案「労災総合保険等契約承認の件」
事務局長より内容説明があり、原案通り、満場一致で可決承認された。
- (3) 第3号議案「2025年度本部事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件」
事務局より内容説明があり、原案通り、満場一致で可決承認された。
- (4) 第4号議案「規約改訂 本部組織 会長代行の件」
事務局長より内容説明があり、原案通り、満場一致で可決承認された。
- (5) 第5号議案「本部役員改選の件」
事務局長より内容説明があり、原案通り、満場一致で可決承認された

7. 閉会の辞

山川副会長（大阪支部長）の閉会の言葉により本総会を滞りなく終了した。



副会長（東京支部長）

児玉建設株式会社
常務取締役 深津 三峰男



副会長（名古屋支部長）

株式会社酒井田工務店
代表取締役 酒井田 雅一



副会長（大阪支部長）

株式会社山川
代表取締役社長 山川 数也

2024年度

自：2024年

至：2025年

月 別 実施事業		2024年					
		4	5	6	7	8	9
安全祈願					合同安全祈願 (猿田彦) 7/5(金)		
諸 会 議	本部理事会		本部理事会 (名古屋) 5/24(金)				
	第49回 定時総会				定時総会 (伊勢) 7/5(金)		
	会計監査		本部 会計監査 (東京) 5/16(木)				
	支部長会		第1回 支部長会 (東京) 5/16(木)				
安全協力会本部 パトロール							
建設業労働災害防 止協会諸行事への 参加							
機関誌「あんぜん」 の発行		141号発行					
各支部定時総会 安全衛生大会				東 京6/21(金) 名 古屋6/07(金) 大 阪6/27(木)			
その他		R5第3回 本部納付金		DNC創立80周年 記念行事	親睦会 7/6(土)	R6第1回 本部納付金	R6年度 大日本土木(株) 交付金

事業報告

第1号議案

4月1日

3月31日

2024年			2025年			備 考
10	11	12	1	2	3	
			安全祈願 本部1/17(金) 東京1/23(木) 名古屋1/11(土) 大阪1/23(木)			・合同安全祈願(全役員) ・新年安全祈願(本部・各支部実施)
						名誉会長、会長、副会長(支部長)、本部理事(副支部長、本部支部事務局長)、本部監事、本部事務局参加
						名誉会長、会長、副会長(支部長)、本部理事(副支部長、本部支部事務局長)、本部監事、支部理事代表、本部事務局参加
						名誉会長、会長、本部監事、本部事務局参加
	第2回 支部長会 (静岡) 11/8(金)	第3回 支部長会 (大阪) 12/4(水)			第4回 支部長会 (名古屋) 3/14(水)	名誉会長、会長、副会長(支部長)、本部支部事務局長、必要に応じて本部監事参加(会長より依頼)
名古屋 10/1(火) 10/2(水) 大阪 10/25(金) 10/26(土)	東京 11/19(火) 11/20(水)					各支部1回 会長、副会長(会長欠席の時は副会長が会長代理)、本部支部事務局、名誉会長は参加できる場合は参加
全国建設業 労働災害 防止大会 (東京)						任意参加
142号発行						年2回発行 定時総会、支部総会、PTR推進大会、支店受付等で配布
						支部定時総会の来賓 名誉会長・会長・事務局長(会長欠席の時は事務局長が会長代理)
	幹部意見交換会		R6第2回 本部納付金		年度末親睦会	

令和7年6月2日

大日本土木安全協力会本部 御中

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

代理店 エムエスティ保険サービス株式会社

損害保険お見積

【労災総合保険】

保険期間 令和7年7月14日～令和8年7月14日(1年間)

過去の損害率による割引 40%適用 * 昨年度40%

単位(万円)		基本契約	通勤災害
		給付額	
死亡		1,000万円	1,000万円
後遺傷害	1級	750万円	750万円
	2級	750万円	750万円
	3級	750万円	750万円
	4級	300万円	300万円
	5級	250万円	250万円
	6級	200万円	200万円
	7級	150万円	150万円
	8級	50万円	50万円
	9級	40万円	40万円
	10級	30万円	30万円
	11級	20万円	20万円
	12級	10万円	10万円
	13級	10万円	10万円
	14級	10万円	10万円

年間保険料
4,247,190円分割保険料(3回払)
1,415,730円

特約

- 通勤災害補償特約
- 災害付帯費用補償特約(基本型)
- 保険料確定特約(直近会計年度末用)B1
- 有期事業契約特約(包括契約用)B9
- 下請負人補償特約

【団体総合生活補償保険】

保険期間 令和7年7月14日～令和8年7月14日(1年間)

補償区分 就業中のみ補償

準記名式 一部付保(下請工事従事者のうち、政府労災保険における特別加入者)

団体割引 5%

死亡・後遺障害 10,000千円

1名あたり保険料	5,100円
被保険者数	30名
人数分合計保険料	153,000円

*ご契約の内容の詳細につきましては、パンフレット、約款、重要事項説明書をご確認いただきますようお願いいたします。

2025年度 本部事業計画（案）

（自：2025年4月1日～至：2026年3月31日）

安全衛生環境品質協力会（以下「安全協力会」）は労働安全衛生法に基づき、大日本土木株式会社（以下「大日本土木」）と協力して作業所の労働災害防止に努めるとともに、会員企業等を被保険者とした労災補償保険を締結します。また、大日本土木との協力会社パートナーシップを強化することで、施工品質の確保と会員企業の安定、従業員の福祉を目的として以下の事業を行います。

＜実施予定事業＞

- 1) 支部が行う安全衛生大会開催の支援
 - ・ 名誉会長、会長、本部事務局長は支部安全衛生大会に参加
 - ・ 支部安全衛生大会に安全冊子等記念品の提供
 - ・ 支部総会の実施結果等を、機関誌「ANZEN」及び「大日本土木ホームページ」を通じて安全協力会会員へ報告
- 2) 安全協力会本部パトロール 各支部1回
 - ・ 安全協力会各支部の作業所で安全衛生環境パトロールの実施
- 3) 安全協力会を運営するために必要な会議体の実施
 - ・ 本部理事会（名誉会長・会長・副会長・本部理事・本部監事が参加）
 - ・ 定時総会（名誉会長・会長・副会長・本部理事・本部監事・支部理事代表が参加）
 - ・ 中央協議会（安全協力会と大日本土木において、協議を必要とした場合に随時開催）
 - ・ 支部長会 年4回（会長・支部長・本部支部事務局長が参加）
- 4) 安全表彰に関すること
 - ・ 無災害作業所における優秀職長の表彰
 - ・ 大日本土木の募集する安全・環境に関する論文、標語、ポスターの表彰に協賛
- 5) 労災補償に係わる保険管理業務
 - ・ 大日本土木作業所における安全協力会会員の労災補償
- 6) 機関誌「ANZEN」の発行 年2回
- 7) 建設業労働災害防止協会等が実施する諸行事への参加
- 8) 大日本土木と安全協力会の相互連携を保つための活動
 - ・ 合同安全祈願、意見交換会、親睦会を大日本土木と共同開催
- 9) 社会の動向に併せた活動の実施
- 10) その他労働災害防止に必要なこと
 - ・ 安全協力会各支部の安全活動を推進するための助成
 - ・ 労働災害防止、作業環境の整備・改善に関する調査研究

2025 年度

自：2025 年

至：2026 年

月 別 実施事業		2025年					
		4	5	6	7	8	9
安全祈願					合同安全祈願 (静岡浅間) 7/4(金)		
諸 会 議	本部理事会		本部理事会 (岐阜) 5/23 (金)				
	定時総会				第50回 定時総会 (静岡) 7/4(金)		
	会計監査		本部 会計監査 (東京) 5/16 (金)				
	支部長会		第1回 支部長会 (東京) 5/16 (金)				
安全協力会本部 パトロール					○ 東京		
建設業労働災害防 止協会諸行事への 参加							
機関誌 「ANZEN」の発行		143号					
各支部定時総会 安全衛生大会				東 京 6/20 (金) 名古屋 6/13 (金) 大 阪 6/19 (木)			
その他		R6第3回 本部納付金	親睦会		親睦会	R7第1回 本部納付金	R7年度 大日本土木(株) 交付金

事業計画（案）

4 月 1 日

3 月 31 日

2025年			2026年			備 考
10	11	12	1	2	3	
			新年安全祈願 本 部1/16（金） 東 京1/21（水） 名古屋1/10（土） 大 阪1/22（木）			・ 合同安全祈願（全役員） ・ 新年安全祈願（本部・各支部実施）
						名誉会長、会長、副会長（支部長）、 本部理事（副支部長、本部支部事務局 長）、本部監事、本部事務局参加
						名誉会長、会長、副会長（支部長）、 本部理事（副支部長、本部支部事務局 長）、本部監事、支部理事代表、本部 事務局参加
						名誉会長、 会長、本部監事、本部事務局長参加
第2回 支部長会 （神戸）		第3回 支部長会 （名古屋）			第4回 支部長会 （岐阜）	名誉会長、会長、副会長（支部 長）、本部支部事務局長、必要に応 じて本部監事参加
	○ 大阪			○ 名古屋		各支部 1 回 会長、副会長、本部支部事務局、名誉会 長は参加できる場合は参加
全国建設業 労働災害 防止大会 （神戸）						任意参加
144号						年2回発行 定時総会、支部総会、PTR推進大会、支 店受付等で配布
						支部定時総会の来賓 名誉会長・会 長・事務局長
	幹部意見交換会		R7第2回 本部納付金		親睦会	

規約改訂 本部組織 会長代行の件

本部組織において、「相談役」を廃止し、「会長代行」を設置する。

■ 規約改訂(案)

第4章 本部組織

第12条

4 本会は会長代行を置くことができる。

(1) 会長代行は1名として、会長が委嘱する。

(2) 委嘱期間は会長の在籍期間とする。

(3) 会長代行は、会長の要請により会長の職務を代行することができる。

□ 現行規約(令和6年4月1日改訂)

第4章 本部組織

第12条

4 本会は相談役を置くことができる。

(1) 相談役は1名として、会長が委嘱する。

(2) 相談役の在籍は2年とする。

(3) 相談役は理事会において、会長の要請があれば意見を述べることができる。

支部総会開催（各支店 安全衛生大会 併催）

令和7年6月13日（金）の名古屋支部総会を皮切りに、東京、大阪各支部総会が開催されました。

安全協力会名誉会長 祝辞

“ご安全に”

只今、ご紹介いただきました竹田でございます。今年度も引き続き安全協力会本部名誉会長を務めさせて戴きます。安全協力会会員の皆様のご協力、ご支援を賜りながら、昨年度よりもさらに安全衛生管理活動を充実させたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

先ほど、本総会議事におきましては、支部の活動報告・予算等の審議が滞りなく承認されましたこと、お慶び申し上げます。また、協力会社優良職長の表彰をお受けになられた皆様、誠にありがとうございます。現場では職長さん

の役割が益々重要になっています。不慣れな作業員さん、或いは外国人の方々が混在しているチームを如何にまとめ、安全に良いもの作りを行うか職長さんが現場の要だと思います。これからも優良職長として、周りの模範として益々ご活躍して戴くことを期待しております。

さて、建設業界の使命は今後、益々重要になると思っております。今年も大きな台風が予想されます。いつ何時地震が起きるかもわかりません。目の前に迫った災害に備え、国土強靱化、防災工事は緊急の課題です。また、万一災害が発生した場合は、我々建設業界が真っ先に駆け付け、人々の生活を守らなければなりません。寿命の来たインフラ整備も早急に手当しなければなりません。埼玉県では古くなった下水道が壊れ、大きな災害となったことは記憶に新しいものです。日本経済の活性化に必要な民間の設備投資も堅調です。コロナで停滞した数年を取り戻すべく、民間設備投資も急ピッチに進んでおります。今年も忙しくなりそうです。使命を果たすべく頑張りたいと思います。

皆様のご協力のお陰で、安全成績は年々向上しています。今年度も昨年以上に活動を充実し、皆様と共に災害から我々仲間を守る活動を精力的に行いたいと思っています。何卒、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、本日ご参集の皆様の益々のご繁栄とご活躍を祈念申し上げ、お祝いと御礼の挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



大日本土木安全協力会 名誉会長

大日本土木株式会社

代表取締役 常務執行役員 竹田 勝一

安全協力会会長 祝辞

“ご安全に”

只今紹介頂きました安全協力会本部、会長を拝命しております森屋でございます。

僭越ではございますが、安全協力会支部総会の開催に当たり、一言ご挨拶をさせていただきます。

まずもって令和7年度支部総会が盛大に開催されますことをお祝い申し上げますと共に、支部会員の皆様には安全協力会の事業運営と労働災害防止活動に対し、日頃から格別なる御支援とご協力を賜っていますこと、厚く御礼を申し上げます。また、先程は全ての議

案が満場一致にて承認されましたことも重ねてお慶び申し上げます。特に役員改選により各支部長のリーダーシップのもと、新たな体制で各支部が更なる飛躍を遂げられると確信しております。そして、日頃の労働災害防止活動への積極的な取り組みが実を結び、優良職長として表彰された職長の皆様、誠におめでとうございます。皆様の安全に対する熱意、知識、技術がご自身の会社様を、大日本土木様を、そして建設業界全体をこれからも支えていくものと信じております。心より敬意を表すると共に、今後も一層の御協力をお願い申し上げます。

さて、ご承知かと思いますが、昨年度の全店の安全成績は残念ながら目標を達成出来ませんでした。件数は前年度より減少し、墜落・転落といった重点管理災害も重篤な事故は無かったかと思えます。しかしながら公衆災害が多く発生しております。この事実を深く受け止め、現場ルールを確実に守り、お互いに「ヒューマンエラー」の撲滅を図るべくコミュニケーションを取る事で、「各支店労働災害5件以下」という高い目標で終わります様に、皆様のご協力をお願い申し上げます。

今月は「全国安全週間」の準備月間でございます。スローガンは、「多様な仲間と築く安全、未来の職場」です。DXの推進、カーボンニュートラルへの対応、作業員の国際化など文字通り多様化していく現場において、環境に配慮し、ICT技術なども活用し、文化の違う仲間達と共に労働災害は絶対に起こさないという信念の下、究極の目標である「災害ゼロ」を達成しようではありませんか。そういった意味では、本日の支部総会を良き機会と捉え、会員各社の皆さんが「安全」に対して真剣に向き合い、「安全」で品質の良い仕事



大日本土木安全協力会 会長

株式会社森屋製作所

代表取締役会長 森屋 泰則

をするための努力と工夫を怠らず、結果、「災害ゼロ」を積み重ねて頂ければと思います。

また、6月に改正された「熱中症対策」については、WBGTの測定及び記録の徹底、適切な休憩時間の確保、水分・塩分補給の励行など、法令遵守はもとより、作業員一人ひとりの体調に配慮した現場運営をお願いいたします。本部としましても、各支部の優良事例の水平展開、最新のセーフティーテクノロジーの情報提供、安全教育プログラムの充実など、皆様の活動を全面的にバックアップしてまいります。

最後になりましたが、大日本土木株式会社様の益々のご繁栄と、本日参加をいただきました支部会員各社のご隆盛と、皆様方のご健康とご活躍を祈念申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”

「ANZEN」編集部より

岐阜県には、国の重要無形民俗文化財に指定され1300年以上の歴史を誇る日本の伝統的な漁法「鵜飼」があります。大日本土木(株)本店は岐阜県に所在している事もあり、鵜飼鑑賞をされた方も沢山おられる事でしょう。私自身は、このたび初めてその文化に触れる機会がありました。その奥深さに印象的だった事を、まだご覧になった事のない方の為にもお伝えしたいと思います。

+++ 鵜飼の世界に息づく価値の逆転 +++

「鵜が鮎を捕る」というこの古典的な漁法には、現代の価値観とは異なった逆転の美学が存在しています。通常、魚は傷がないほど価値が高いとされますが、鵜飼で捕られた鮎は逆の評価を受けます。鵜のくちばしでついた小さな傷跡「鵜傷（うきず）」が、その鮎の価値を高めるのです。料亭では、料理人がこの傷跡を確認し敬意を込めて調理します。また食す側も、この傷跡を通じて、食事を超えた文化的体験を味わいます。傷があることが価値を高めるという、一般的な商品価値とは真逆の基準がここにはあるそうです。

また漁を終えた鵜たちは船のかがり火の周りで羽を乾かします。実はその鵜たち、地位の高い鵜ほど最も暖かい火の近くに陣を取るという権利を持っているそうです。そしてこれは鵜匠さんが決めるのではなく、年長（中には20才の鵜も！）や技術を持つベテラン鵜が特等席を占めて、若い鵜は離れて羽を乾かすという、鵜たちが自然にうみだした社会的序列によって決まるそうです。

日頃、効率性や完成度を問われる事の多い現代の生活において、鵜飼文化の価値観は、捕獲量や見た目の完璧さではなく、真逆のところにありました。そして言葉や指示のない中で、尊重し合い共生する鵜たちの序列は、争いの絶えない人間社会において学ぶべき姿でした。

岐阜・長良川で繰り広げられる「鵜飼」。来夏、かがり火に映し出される鵜たちの美学を感じてみてはいかがでしょうか。（開催期間 5月11日～10月15日 ○中秋の名月を除く）



（文・常田佐知代）

東京支部総会 令和7年6月20日（金）開催 全電通労働会館

安全協力会 東京支部長 挨拶

“ご安全に”

只今ご紹介を頂きました。安全協力会東京支部長を仰せつかっております、森田組の藤澤でございます。安全協力会東京支部、2025年度総会の開催に当たり、高いところから大変僣越ではございますが一言簡単にご挨拶をさせていただきます。

本日、本総会のご案内をしたところ、会員の皆様には大変お忙しい中、また、梅雨時の蒸し暑い中にもかかわらずこのように大勢の方々にお集まりをいただき、当総会が盛大に開催する事ができ、後ほど議案のご審議を頂けますこと、厚く御礼を申し上げます。また、御多忙中にも関わらず、大日本土木安全協力会本部より、名誉会長竹田様、会長森屋様、事務局長岡山様のご臨席を賜り、誠にありがたく厚く御礼を申し上げます。

安全協力会東京支部 会員の皆様方には、平素より支部の事業運営 並びに、労働災害防止活動に、ご支援とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。お蔭をもちまして、令和6年度支部事業計画とその運営が、ほぼ滞りなく推進でき、本日の総会の運びとなりました。御礼とご報告を申し上げます。

東京支部における 令和6年度の安全成績は、不休3件で前年度に比べ減ってはいますが、死亡災害は絶対に、防がなければなりません。全ての職場において、それぞれの持ち場で労働災害防止に積極的に取り組んでいただいていることに心より御礼申し上げます。そして今後の安全管理の徹底をお願いします。

今月は、7月1日から始まる「全国安全週間」の準備月間です。今年度の全国安全週間のスローガンは「多様な仲間と築く安全みらいの職場」で一斉に展開されます。安全協力会は、全社安全スローガン「なくそう災害 全員参加の「先取り安全」！」

東京支部会員の皆様の、一層のご協力により、無事故無災害に向け、邁進しようではありませんか。

建設業界を取り巻く環境は、材料費の高騰、技能者の不足等があり、厳しい状況にあります。こうした厳しい状況下にあっても 私たちは、労働災害防止に向けて、一層の取り組み強化が求められています。大日本土木(株)と協力会社と相連携し、労働災害防止、環境法令違反防止、そして環境保全を行うのが「安全協力会」活動です。施工品質の確保、生産性向上の取り組みを加えた、「パートナー会」と共に、安全衛生管理活動に加え建設キャリアアップシステム、グリーンサイトの活用現場における働き方改革を、進めていかなければなりません。会員各社の皆様の、ご理解とご協力を何卒お願い申し上げます。

如何なる時も、如何なる環境にあっても「安全第一」です。労働災害は、絶対に起こしてはなりません。安全協力会東京支部は、今年度も役員による合同一斉パトロール、職長会活動の充実、「ヒューマンエラー」の撲滅を目指し、労働災害防止に努めてまいります。会員の皆様の、ご支援ご協力を、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日、令和6年度の労働災害防止活動の功績が認められ、栄えある表彰を受けられます方々に心からお祝いを申し上げますとともに、大日本土木株式会社の益々のご繁栄、会員各社のご発展とご健勝を心から祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



東京支部長（本部副会長）

株式会社森田組 代表取締役 藤澤 徹



総会状況



本部 優良職長表彰



東京支部 優良職長表彰



受賞者一同



来賓 新宿労働基準監督署
安全衛生課長 立石 治



特別講演「世界のゴルフとスポーツビジネス」
プロゴルファー・ゴルフ解説者 タケ小山

名古屋支部総会 令和7年6月13日（金）開催 じゅうろくプラザ

安全協力会 名古屋支部長 挨拶

“ご安全に”

只今ご紹介を頂きました。安全協力会名古屋支部長を仰せつかっております、酒井田工務店の酒井田でございます。安全協力会名古屋支部、2025年度の総会開催に当たり、高いところから大変僥越ではございますが一言ご挨拶申し上げます。

安全協力会名古屋支部会員の皆様方には、平素より支部の事業運営並びに、労働災害防止活動の運営に、日頃から格別のご支援ご協力を賜り、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。本日は、大変お忙しい中、このように多数の方々にご参集いただき当総会が盛大に開催できますこと、そして後ほどの議案のご審議を頂けますこと、厚く御礼を申し上げます。また、業務御多忙中にも関わらず、大日本土木安全協力会本部より、名誉会長竹田様、会長森屋様、事務局長岡山様会社からのご臨席を賜り、誠にありがたく厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は能登半島地震、全国各地で発生した豪雨災害、南海トラフ地震臨時情報、埼玉県八潮市の道路陥没事故等、我々建設業に関わる者として、防災、減災、復旧、インフラ老朽化等の国土強靱化対策推進が極めて重要であることを再認識させられる1年でありました。今後ますますこれらの対策が増加してくるものと考えられます。本日の特別講演の竹村先生は、元国交通省河川局長でいらっしゃいますので、このような話があると思いますので楽しみにして下さい。

昨年度はお蔭をもちまして、2024年度支部事業計画とその運営が、ほぼ滞りなく実施でき本日の運びとなりました。しかしながら安全協力会の目的でもあります「災害防止」の観点から申し上げますと、名古屋支部の2024年度の安全成績は、休業災害が2件、不休災害が4件の結果でありました。またJVサブ工事において3件発生し、全9件の災害発生であり、前年度の10件に比べ、ほぼ横ばい状態でした。公衆災害につきましては、短期間に架空線等のインフラ損傷による事故が5件発生しました。これら事故は内容によっては顧客、地域、社会等のステークホルダーに対し、大きな影響を及ぼしかねません。その結果、会社の事業運営の弊害につながる恐れも考えられます。安全協力会として全作業所に架空線切断接触防止のぼり旗、注意喚起表示のステッカー、マグネットの制作配付を実施しまして、対策に取り組んでおります。その後、架空線切断接触等の事象は発生しておりません。今一度、災害、事故防止に取り組むよう、会員各社の皆様をお願い申し上げます。

しかし、今年度につきましては、既に3件の不休災害と2件の公衆物損事故、1件の交通事故が発生しております。ゴールデンウィーク明けからの2週間ほどで発生し、連鎖しております。たまたま大きな影響を及ぼす内容ではなかったことは不幸中の幸いでありました。ハインリッヒではありませんが、細かな災害が続くと大きな災害発生につながる予兆と捉える必要がありますので、今日お集りの会員各社の皆様、今後、絶対に不安全行動を取らない、取らせないよう、更なるご指導を徹底頂き、今後の無事故無災害を切にお願い申し上げます。

今月は、7月1日から始まる「全国安全週間」の準備月間です。今年度の全国安全週間のスローガンは「多様な仲間と築く安全 未来の職場」で展開されます。全国的に見まして、これまで、各事業場で、労働災害防止対策が展開され、労働災害は長期的には減少しております。昨年度の労働災害については、死亡災害は前年を下回る見込みであります、休業4日以上死傷災害は前年を上回る見込みであり、近年、増加傾向に歯止めがかから



名古屋支部長（本部副会長）

株式会社酒井田工務店

代表取締役 酒井田 雅一

ない状況となっているそうです。特に、高年齢労働者の増加を背景として、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害が増加し続けており、また死亡災害については、墜落・転落などによる災害が依然として後を絶たない状況にあります。我々安全協力は、全社安全スローガン「なくそう災害 全員参加の「先取り安全」！」及び、安全目標である「死亡・重篤・公衆災害ゼロ」を達成すべく、名古屋支部会員の皆様の一層のご協力により、無事故無災害に向け、邁進するようお願い申し上げます。

この4月より店社よりビルディーを活用した労務安全管理の運用が要請されております。建設業法にも抵触する事項でございますので、今後運用される会員各社は適切な運用をお願い致します。また、2次、3次の協力会社への指導も併せてお願い致します。まだまだ人手不足による未熟練労働者の増加、働き方改革による労働時間の上限規制等、労働災害の発生するリスクが高まる環境ですが、こうした厳しく困難な状況下にあっても、労働災害防止の一層の取り組みが重要であります。名古屋支部会員各社の皆様方には、是非とも実行性のある安全衛生管理活動に、日々取り組んで頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。これから熱中症の懸念の時期でございます。6月の法改正により事業者は熱中症対策が必須となりました。安全協力会と致しまして以前より熱中症対策備品を全作業所に配付しておりますが、法改正に準じたポスターを制作、配付しております。作業員の健康管理を含め、今後の災害防止活動のご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、大日本土木株式会社様の益々のご繁栄と、本日までご参集いただきました、会員各社のますますのご発展と、皆様方のご健勝を祈念申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



本部 優良職長表彰



名古屋支部 優良職長表彰



受賞者一同



特別講演「インフラが支える日本文明」
元国土交通省河川局長 竹村 公太郎

大阪支部総会 令和7年6月19日（木）開催 大阪国際交流センター

安全協力会 大阪支部長 挨拶

“ご安全に”

2025年度大日本土木安全協力会大阪支部総会開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。わたくし、安全協力会大阪支部長を拝命させて頂いております、株式会社山川の山川でございます。よろしくお願い申し上げます。

本日は、2025年度大日本土木安全協力会大阪支部総会並びに西日本支店安全衛生大会を開催しましたところ、会員の皆様におかれましては、ご遠方、またご多忙中にも関わらず、多数のご出席を頂き誠に有難うございます。また、本日ご来賓として大日本土木安全協力会本部より、名誉会長竹田様、会長森屋様、事務局長岡山様のご臨席を賜り、このような盛大な総会を開催出来ます事を心より厚く御礼申し上げます。

会員の皆様には、日頃から安全衛生管理活動並びに安全協力会の事業活動に格別のご支援、ご協力を頂きこの場をお借りして御礼申し上げます。おかげをもちまして安全協力会大阪支部の、令和6年度の事業計画が予定通り順調に推移し、本日の総会の運びとなりました。御礼とご報告申し上げます。

2025年は乙巳（きのと・み）の年で、物事を柔軟に考え、しなやかに前進し成長する年であると言われています。個人や社会にとって大きな転機となり、変化と新たな挑戦のエネルギーが高まる年ともされています。4月には、大阪・関西万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開幕しました。すでに行かれた方もおられるかと思いますが、約2,800万人が訪れるとされています。また、明るい話題ばかりでなく、発生確率が高くなっている南海トラフ地震や、林野火災など、いつ起こるか判らない自然災害から、常に身の安全を守れるように防災意識を持って行動しなければいけないと感じています。

昨年度、西日本支店では労働災害が、目標より1件多い6件発生しました。その中でも一つ間違えると死亡・重篤災害に繋がり兼ねない、墜落災害が2件発生した事は非常に残念でなりません。立入禁止区域内に入る近道行為、昇降梯子の不適切な使用と、個人の判断の甘さや横着行為が災害に繋がりました。今一度、職長会活動を活性化し、仲間同士、声を掛け合って災害を防ぐようお願いいたします。本年度も、協力会社各社の、自主管理能力の向上を図り、ルールを遵守し、事故のない快適な環境を構築し「災害ゼロ」を達成出来ますように、会員の皆様のご協力をお願い致します。

最後になりますが、より一層安全衛生活動を充実させ、災害のない職場にして頂き、会員各社の益々の繁栄を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



大阪支部長（本部副会長）

株式会社山川 代表取締役社長 山川 数也



総会状況



本部 優良職長表彰



大阪支部 優良職長表彰



受賞者一同



新役員紹介



来賓 大阪中央労働基準監督署 副署長 松本淳司



特別講演 「お笑い芸人コミュニケーション能力に学ぶ！ミスを防ぐ現場づくりの極意」
放送作家・漫才作家 村瀬 健



講演拝聴

2025 年度 支部総会・安全衛生大会 結果報告

支 部 総 会		東京支部	名古屋支部	大阪支部
安 全 衛 生 大 会		東日本支店 海外支店	中日本支店	西日本支店
月 日		6 月 20 日 (金)	6 月 13 日 (金)	6 月 19 日 (木)
場 所		全電通労働会館	じゅうろくプラザ	大阪国際交流センター
出席者	来 賓 他	5 名	4 名	2 名
	協 力 会 社	219 名	285 名	332 名
	大 日 本 土 木 (株)	98 名	101 名	85 名
	合 計	322 名	390 名	419 名
安全表彰	支部総会 本部会長表彰 (協力会社優良職長)	2 名	8 名	4 名
	支部長表彰 (協力会社優良職長)	12 名	24 名	12 名
	安全衛生大会 社 長 表 彰 (無災害作業所 及び 協力会社)	東日本支店 2 社 海外支店 1 社	4 社	4 社
	支店長表彰 (無災害作業所 及び 協力会社)	東日本支店 12 社 海外支店 1 社	12 社	12 社
来 賓		新宿労働基準監督署 安全衛生課長 立石 治 様	—	大阪中央労働基準監督署 副所長 松本 淳史 様
特 別 講 演		『世界のゴルフと スポーツビジネス』 プロゴルファー・ゴルフ解説者 タケ 小山 様	『インフラが支える 日本文明』 元国土交通省河川局長 竹村 公太郎 様	『お笑い芸人コミュニケー ション能力に学ぶ!』 ミスを防ぐ現場づくりの極意』 放送作家・漫才作家 村瀬 健 様

第 62 回「全国建設業労働災害防止大会 in 兵庫」開催

今年は阪神・淡路大震災発生 30 年目にともない、神戸で行われました。14 年前には東日本大震災も発生し、地震のみならず集中豪雨等の自然災害が多発している近年、建設業界の自然災害対応に特化した「自然災害部会」も開催されました。



2025 年度 大日本土木安全協力会 本部・支部役員名簿

本・支部	役職	会 社 名	役 職	氏 名
本部	名誉会長	大日本土木(株)	代表取締役 常務執行役員 兼 土木本部長	竹田 勝一
	本部長	(株)森屋製作所	代表取締役 会長	森屋 泰則
	本部監事	金神鋼業(株)	代表取締役 社長	金神 徹尚
	本部監事	大日本土木(株)	執行役員 総務部長 兼 業務改善部長	前田 茂浩
	本部事務局長	大日本土木(株)	本社 環境安全品質部長	岡山 孝
東京支部	名誉支部長	大日本土木(株)	執行役員 東日本支店長 兼 環境安全品質部長	羽田野 真希雄
	支部長	児玉建設(株)	常務取締役	深津 三峰男
	副支部長	北稜建設(株)	代表取締役	小川 滋
	副支部長	(株)森田組	代表取締役	藤澤 徹
	理事	(有)明伸	代表取締役 社長	島田 明壽
	理事	真和建設(株)	代表取締役	明本 真吾
	理事	山崎建設(株)	執行役員 支店長	石井 隆之
	理事	(株)弘左官工業	代表取締役	平野 弘幸
	理事	三生設備(株)	専務取締役	細井 聖啓
	理事	向井建設(株)	土木営業部 部長	靄 浩徳
	理事	成友興業(株)	執行役員 建設事業部長 兼 建設営業統括部長	塩浦 智之
	監事	(株)横内工業	取締役 社長	湯本 伸矢
	監事	大日本土木(株)	東日本支店 総務部長	森川 嘉美
	事務局長	大日本土木(株)	東日本支店 環境安全品質部次長	土田 芳典
名古屋支部	名誉支部長	大日本土木(株)	常務執行役員 中日本支店長 兼 岐阜本店長 兼 環境安全品質部長	小椋 克泰
	支部長	(株)酒井田工務店	代表取締役	酒井田 雅一
	副支部長	(株)岡崎組	代表取締役	岡崎 弘志
	副支部長	(株)永山工務店	代表取締役 社長	永山 善一

本・支部	役職	会 社 名	役 職	氏 名
名古屋支部	理事	飯島鉄筋工業(株)	代表取締役	飯島 勉
	理事	横山工業(株)	代表取締役	横山 英司
	理事	(株)大菅工業	代表取締役	白木 毅仁
	理事	海津建設(株)	代表取締役 社長	近藤 正
	理事	(株)小澤塗工店	代表取締役	一宮 久朗
	理事	(株) TATSUMI	代表取締役	後藤 諭
	理事	(株)森屋製作所	代表取締役 社長	大岡 基文
	理事	(株)横建	執行役員 副社長	松原 幸一
	監事	金神鋼業(株)	代表取締役 社長	金神 徹尚
	監事	大日本土木(株)	中日本支店 総務部長	大石 昌央
	事務局長	大日本土木(株)	中日本支店 環境安全品質部次長	亀井 利勝
大阪支部	名誉支部長	大日本土木(株)	執行役員 西日本支店長 兼 環境安全品質部長	細野 俊英
	支部長	(株)山川	代表取締役 社長	山川 数也
	副支部長	(株)浅田鉄筋	代表取締役	浅田 宜彦
	副支部長	(株)フセナガセ	代表取締役 社長	青井 波憲
	理事	(株)村岡	代表取締役 会長	村岡 順次郎
	理事	(株)木村商会大阪	代表取締役	谷 勝満
	理事	(株)菅工務店	常務取締役	菅 吉弘
	理事	(株)高岸	代表取締役 社長	高岸 典雄
	理事	(株)藤井製作所	代表取締役	藤井 良一
	理事	(株)朋建	代表取締役	松澤 芳樹
	監事	(株)ミズノ	代表取締役	水野 淳
	監事	大日本土木(株)	西日本支店 総務部長	田上 裕之
	事務局長	大日本土木(株)	西日本支店 環境安全品質部次長	廣瀬 淳司

1. 安全衛生環境パトロール

東京支部作業所（東日本支店）において本部パトロールを実施しました。

- 1) 実施日：令和7年8月1日（金）
- 2) 巡視作業所：青梅学校給食C作業所
- 3) 巡視者：竹田名誉会長、藤澤会長代行、深津副会長、岡山本部事務局長、土田支部事務局長



パトロール参加者一同



安全講話（竹田名誉会長）



巡視状況

2. 下期活動予定

- | | |
|------------------|---|
| (1) 安全協力会本部パトロール | 大 阪支部作業所（西日本支店）R7年11月
名古屋支部作業所（中日本支店）R8年3月 |
| (2) 安全協力会幹部意見交換会 | R7年11月 |
| (3) 支部長会議の実施 | R7年10月（神戸）、12月（岐阜）、R8年3月（岐阜） |
| (4) 新年安全祈願の実施 | R8年1月16日 日枝神社 |

東京支部

1. 安全衛生環境パトロール

労働災害の撲滅を目指し、令和7年6月25日（水）に、第1回安全衛生環境パトロールを、深津支部長をはじめ協力会支部役員で建築土木にて3作業所で実施しました。パトロール実施後は、支店にて支店長、副支店長、工事部長に参加頂き、パトロール結果と安全協力会からの要望事項等を報告し、今後の安全衛生管理に生かして頂くようお願い致しました。



＜建築＞青梅学校給食C作業所



＜土木＞所沢造成作業所（職長意見交換会）



＜建築＞国立二小改築作業所（パトロール員一同）



支部パトロール報告会

2. 研修会（環境）

令和7年7月9日（水）に「東京都環境局埋立処分場」において、最終処分場の現状及び東京都のごみ処分の課題を学び、廃棄物の再資源化分別の重要性を再認識しました。



「東京都環境局 埋立処分場」 現地視察 参加者一同

3. 下期事業予定

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| (1) 支部理事会 | R7年10月、12月、R8年3月 開催予定 |
| (2) パトロール | R7年11月、R8年2月 実施予定 |
| (3) 安全祈願 | R7年10月 熊野神社にて安全祈願
R8年1月 明治神宮にて安全祈願 |
| (4) その他事業 | 熱中症対策事業、安全教育DVD貸出し、
職長会運営助成事業等 |

名古屋支部

1. 安全衛生環境パトロール

令和7年9月18日（木）に第1回合同安全衛生環境パトロールを実施しました。酒井田支部長をはじめ名古屋支部役員全員参加で建築土木各1作業所、計2作業所に対し実施し、安全指導・要望事項を今後の安全管理に生かしていただくようお願い致しました。



＜建築＞三洋事務所増築・改築作業所



建築パトロール員一同



土木パトロール員一同



＜土木＞名市本山 EV 作業所

2. 下期事業予定

- (1) 支部理事会 R7 年 10 月 15 日、R8 年 1 月、3 月開催予定
- (2) パトロール R7 年 12 月 土木・建築各 1 現場実施予定
- (3) 安全祈願 R7 年 10 月 15 日 伊奈波神社
R8 年 1 月 10 日 猿田彦神社
- (4) その他の事業 熱中症防止対策事業（法改正のポスター制作、備品配付）
職長会申請作業所、全職員に対し「安全法令ダイジェスト（ポケット版）」を配付
安全教育用 DVD 貸出、
職長会運営助成事業（助成金、職長ヘルメットの提供）



安全法令ダイジェスト（ポケット版、名入り）

大阪支部

1. 安全衛生環境パトロール

労働災害の撲滅を目指し、支店の安全衛生環境パトロールに毎月参画して、安全指導を行っています。安全週間・労働衛生週間の時期には、協力会理事全員参加で土木・建築各作業所のパトロールを実施して安全指導を行うと共に、職長・作業員から要望事項を聴き取り、作業所にフィードバックし、今後の安全管理に生かして頂くようお願い致しました。



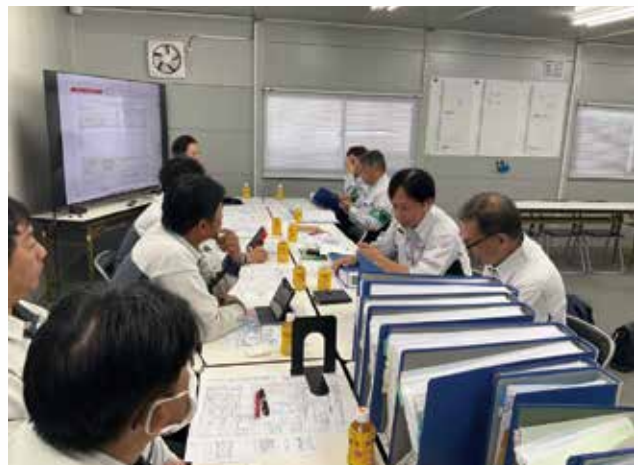
＜土木＞水企船橋浄水場作業所（パトロール員一同）



＜土木＞水企船橋浄水場（現場巡視）



＜建築＞近不登美シニア水作業所（パトロール員一同）



＜建築＞近不登美シニア（書類確認）

2. 教育啓蒙活動

体験型教育（特別教育、重機死角体験教育等）を実施し、作業員や若手職員の危険感受性の向上、知識の向上を図り事故防止に役立てます。



＜5 t 未満クレーン特別教育＞



＜重機死角体験教育＞

3. 下期行事予定

- | | |
|-------------|--|
| (1) 支部理事会 | R7 年 10 月 22 日、12 月 2 日、R8 年 3 月 19 日 開催予定 |
| (2) 合同パトロール | R7 年 10 月 15 日 吹田佐井寺調整池、10 月 17 日 サムテック第 9 |
| (3) 安全祈願 | R8 年 1 月 22 日 大神神社 |
| (4) 賀詞交歓会 | R8 年 1 月 28 日 |
| (5) その他の事業 | 熱中症防止対策事業、安全教育用 DVD 貸出、特別教育の実施
職長会運営助成事業（助成金、職長ヘルメットの提供）等 |

